

## 人権啓発資料DVD一覧

番号	対 象	題 名	時間	内 容	種別
1	小学校1年生	「人KENまもる君とあゆみちゃん 世界をしあわせに」 (企画 法務省人権擁護局) 	15分	世の中のすべての人が幸せになることを願い、旅をしている心優しい人KENまもる君とあゆみちゃんが、野菜村を訪れた。その村人たちがマントオバケに襲われ、野菜をアニマルタウンに届けられず困っていたので手助けをする。しかし、そのマントオバケの正体は仲間はずれにされていた野菜村のニンジンくんとピーマンくんだったのだ。そこで、アニマルタウンのみんながニンジンくんとピーマンくんと仲間はずれにしないようにするためのアイデアを思いつき、かぼちゃ村長たちとアニマルタウンへ向かう。 仲間はずれをすることなく、みんなが仲良くすることの大切さを、子どもが親しめる人KENまもる君とあゆみちゃんのアニメーションで描いた作品です。	DVD
2	小学校1年生	おじゃる丸 ちっちゃいものの大きな力	11分	NHKの放映で人気の「おじゃる丸」が颯爽と登場！千年前の平安朝からやって来たみやびなお子様・おじゃる丸が、カズマや電ボ、アカネ、アオベエ、キスケたちと愉快な出来事を繰り広げます。 この作品は、特に道徳的なテーマを扱っており、「ちっちゃいものクラブ」の仲間たちとおじゃる丸が、月光町で助け合いの大切さを学んでいく作品です。	DVD
3	小学校の低学年(1年から2年生)	「白い魚とサメの子」 (企画 法務省人権擁護局)	約25分	広い海の中に暮らす白い魚の子は、周りのカラフルな魚たちの輪に入り込めず、いつもひとりぼっち。「ぼくはみんなにきらわれているんだ。ぼくなんでいなくなってもいい…」と自分に自信が持てずに過ごしていた。 そんなとき、夢に現れた大きなリウウが教えてくれた「ありのままの君を好きになってくれるのが本当の仲間だ。」ということ。 『自分らしさとは？』白い魚の子が一生懸命考えていたその時、突然の嵐に飲み込まれる魚たち…白い魚は勇気を出し、全部の魚たちを助けることができた。傷だらけになりながらみんなを助けた白い魚は充実感でいっぱいだった。 母親や夢で会ったリウウから勇気もらい、自信を取り戻すことができた白い魚は、『ゆうきとやさしさでたくさんのなかまができる』という経験を通して、『自分らしさ』の答えを見いだすことができた作品です。	紙芝居
4	小学校の低学年(1年から2年生)	みんないちばん！	約13分	小さな森の小さな仲間たちのお話です。朝早く、起き出したのは、元気いっぱいのだんごり君。まだ眠い仲間を起こし、遊ぼうとせがみます。さっそく始まったのが、木の上で飛び上がる遊び。みんな挑戦しますが、だんごり君の大ジャンプにびっくり。 負けちゃいけない。今度は松ぼっくり君の番です。剣道の達人、松ぼっくり君が枯れ葉をバサリ。みんな真似しますが、かないません。次に球根君が穴掘り名人に、たけのこ君が大きな石を持ち上げ力持ち一番になります。 だけど、きのこちゃんだけは、どれももうまうきません。きのこちゃんは、自分にいいところがないと落ち込みます。でも仲間たちはわかっていました。雨にうたれた小さな虫たちを助けるきのこちゃんが、やさしさ一番だということを。	DVD

## 人権啓発資料DVD一覧

番号	対 象	題 名	時間	内 容	種別
5	小学校の低学年(2年から3年生)	「ぼくのきもち きみのきもち」 (企画 法務省人権擁護局)	約25分	本作品は、「相手への理解、相手を思いやる気持ちの大切さ」を主なテーマとして、いじめられている児童(シバ夫)と、いじめをしている児童(ブル太郎)の体(立場)が入れ替わることで、お互いの気持ちに気づき、理解し合う姿を描いています。 本作品を通じ、いじめ問題、そして「相手を思いやる気持ちの大切さ」について、子どもたちに考えるきっかけとしてもらうことが大きなねらいです。	紙芝居
6	小学校低学年	インターネットにご用心!	17分	主人公のハルト君はゲームが大好きな小学2年生。今日もゲームで楽しく遊んでいたら、ゲームの中で知らない人に声をかけられて……?  インターネットについて、気をつけなければならないことを学べる内容となっています。	DVD
7	小学校低学年	忍たま乱太郎のがんばるしかないさ シリーズ	30分 (10分×3タイトル)	①「良いと思うことをおこなう」 野外活動で公園にでかけた忍たま三人組が、困っている人を助けたり、行列でのマナー、ゴミ捨てのルールなどを体験しながら学んでいきます。 ②「あたたかい心でしんせつにする」 漁船から魚を受け取るというお使いに出発した忍たま三人組は、道中、老女や少年と出会い、あたたかい心遣いや、親切を学んでいきます。 ③「きまりを守って協力しあう」 約束事を忘れて、自分勝手に行動してしまう忍たま三人組。食事当番となった日、とんだ失敗をしていますが、仲間たちのあたたかい協力でおいしいカレーが完成します。	DVD
8	小学校の低学年(1年から3年生)	よっちゃんの不思議なクレヨン	22分	よっちゃんがおばあちゃんからもらったクレヨンは、絵を描けば、それが本物になるという不思議なクレヨンでした。よっちゃんは、イチゴやバナナなど、たくさんの物を描きますが、そのたびに近くにいた森の動物たちが、僕にもちょうだい、私にもちょうだいと描いた果物をみんな食べてしまった。 残ったのは、黒、白、茶のクレヨン。よっちゃんは、悲しくなり泣きながら、茶色のクレヨンで画用紙を塗りつぶします。すると、森は見る影もなく無残な姿に変わってしまった。残っている黒と白のクレヨンでよっちゃんは何を描くのか。 不思議なクレヨンが、「優しい心」「奉仕の心」「反省の心」「間違った欲張りな心」「感謝の心」を教えてくれる作品です。	DVD
9	小学校の低学年(1年から3年生)	さるカニ合戦・いじめっこザルと正直カニさん	12分	仙人が森に降り立つとたくさんの動物たちが集まります。集まった動物たちに仙人が「さるカニ合戦」の話を始めます。この昔話を終えて仙人と動物たちは、いじめについて話し合いをします。 楽しくてわかりやすい昔話をテキストに「いじめ」という問題を個々で考え、みんなで話し合うための作品です。	DVD

# 人権啓発資料DVD一覧

(

番号	対 象	題 名	時間	内 容	種別
10	小学校の低学年(1年から3年生)	とべないホテル	17分	羽が縮んで生まれたために、飛ぶことができない一匹のホテル。そのホテルを助ける仲間のホテルたち。そして足が不自由で歩けない妹のためにホテル狩りにやってきた姉と弟。そんなホテルと子どもたちとのふれあいを通して、やさしさと思いやりの大切さを描くこの作品は、心温まるストーリーと映像の美しさから見る人の心に深い感動を与えてくれる。	DVD
11	小学校の低学年(1年から3年生)	やさしいオオカミ	15分	悪の代表・暴力の代名詞にされているオオカミ。実は、やさしい心をもち、本当の強さを持っていたのです。キバナシと呼ばれ、みんなから馬鹿にされている臆病で喧嘩ひとつできない気弱なオオカミがキツネとウサギの窮地を助けて、友情を獲得する話です。	DVD
12	小学校の低学年(1年から3年生)	みんな友だち	15分	ペンギンのブウは、鳥の仲間なのにどうして飛べないのかと思い悩み、カモメたちも飛べないブウをからかいじめます。その後ペンギンは海の中を飛び回れることを教えられたブウは自信を取り戻し、カモメたちもブウを尊敬し、みんなが友だちになっていく様子を描いています。お互いの良さを認め合うことと友情の大切さを訴えています。	DVD
13	小学校の中学年(3年から4年生)	「プレゼント」 (企画 法務省人権擁護局)	17分	 小学4年生の綾香は、同級生の美由紀の誕生日に手作りの写真立てをプレゼントするが、それは美由紀の気に入るものではなかった。腹をたてた美由紀は、それから綾香にいじわるを始める……。やがてクラス中が綾香を仲間はずれにするようになったが、クラスで孤立している麻里だけが綾香をかばう。	DVD 字幕
14	小学校の中学年(3年から4年生)	みーつけた！	18分	真樹は、思ったことをうまく表現できない内向的な性格で、クラスのみんなから無視されていた。そんな真樹をおもしろ半分で飼育委員長に祭り上げるクラスメート。俊平も副委員長を押しつけられるが、みんなは何かと口実を作って飼育当番をさぼる。何も言わず黙々とウサギの世話をする真樹。ある日、ウサギが一匹死んでしまい、真樹と俊平はみんなから責められる。責任を感じて、ますます熱心にウサギの世話をする真樹。しかし、赤ちゃんウサギを抱こうとしたクラスメートを厳しく制したことが誤解を呼び、再び真樹はみんなからつまはじきにされてしまう…。	DVD
15	小学校の中学年(3年から4年生)	むしむし村の仲間たち みんないいところあるんだよ	13分	元気のないホテルのゲンジは、カマジローやゲンゴローに嫌がらせを受けていた。嫌がらせに気づいたカブトや校長やアゲハ先生は、学校から離れた丘で話し合うことを提案する。丘の上で、いろいろな個性でお互いに助け合うことの大切さを訴えるが、カマジローやゲンゴローは、聞き入れない。そんなときに、皆既日食が起こり、辺りが真っ暗になってしまう。カマジローやゲンゴローは、すぐに学校に帰りたと思うが、真っ暗で動けない。ゲンジは、ホテルの長所を活かして、辺りを明るくし、全員で帰ることができるように協力する。そんな姿を見たカマジローたちは、全員の長所を活かすことができ、学校に帰ることができた。そんな物語を通じて、お互いの違いを認め、相手の気持ちを思いやり、仲間と助け合っていくことの大切さを学んでいく作品です。	DVD

## 人権啓発資料DVD一覧

番号	対 象	題 名	時間	内 容	種別
16	小学校の中・高学年 (3年から6年生)	情報モラルを身につけよう！ 小学生のスマホの安全な使い方教室 第1巻	21分	「スマホのマナー」(約3分)、「会って大丈夫？」(8分30秒)、「相手の事情考えてる？」(7分46秒)を収録。 「スマホのマナー」 スマホの画面を見ないことやスマホの写真や無料通話アプリの一般的な注意点について、説明。 「会って大丈夫？」 インターネット上のみで連絡を取る相手と実際に会うことの危険性やネット上に公開することが危険な情報について、解説。 「相手の事情考えてる？」 無料通話アプリを利用する場合に相手の事情を考えることの大切さを解説。	DVD
17	小学校の中・高学年 (3年から6年生)	情報モラルを身につけよう！ 小学生のスマホの安全な使い方教室 第2巻	18分	「課金して大丈夫？」(5分25秒)、「ネットの詐欺知ってる？」(3分27秒)、「ネット依存の恐怖」(7分25秒)を収録。 「課金して大丈夫？」 スマホでお金を使う問題点について、説明。また、なぜ課金をしてしまうのか、課金をしつづけてしまうのはなぜかについて、説明。 「ネットの詐欺知ってる？」 ワンクリック詐欺などの架空請求にあった際の対処方法について、解説。 「ネット依存の恐怖」 スマホ依存の状態やスマホを使う際のルール作りについて解説。	DVD
18	小学校の中・高学年 (3年から6年生)	見えないところで起きるトラブル ネットの危険性を考えよう	17分	インターネットには、便利な反面、使い方を間違えると深刻なトラブルに直面するという危険な側面やネット依存になるケースがあります。小学生向けに、メッセージのやり取りや情報発信の注意点、ネット依存症の危険性とその防止策について考え学んでいくきっかけとなることを目指す作品です。	DVD
19	小学校の中・高学年 (3年から6年生)	ココロ屋	25分	「ココロ」とは何でしょう？これは私たちにとって永遠の謎であり、自分の「ココロ」を問い続けることが、私たちの人生のテーマの一つでもあります。 「ココロ屋」は、この謎に向かい合うためのヒントとなる優れた児童文学を原作にしたアニメーションです。学校教育においても、道徳の時間は心についての教育です。また、特別活動も児童の心と行動を育てるための時間であり、総合的な学習の時間なども含め、この教材の活用のお機会は多いものと考えられます。 また、自分の心を大切に、相手の心も大切にするという、人権教育の基本的な考え方が盛り込まれています。この作品に登場する「優しいココロ」や「素直なココロ」についてなどは、アサーションの考え方を児童にわかりやすく伝えるためのツールにもなります。	DVD
20	小学校の中学年以上 (3年から大人まで)	みんなの情報モラルⅡ アニメーションで学ぶ！ ゲーム機、スマホ安全教室	小学生21分 保護者22分	ゲームやスマホを扱う際の安全な遊び方や個人情報の取扱いについて、解説。小学生と保護者、双方の視点からなるまとめを収録。 「ゲームの約束」(ゲーム関係) 「あとすこし、もうちょっと」(ゲーム関係) 「ホントはどんな人？」(スマホ関係)	DVD

## 人権啓発資料DVD一覧

番号	対 象	題 名	時間	内 容	種別
21	小学校の高学年(4年から6年生)	しらんぷり	21分	いじめにあう少年の心の葛藤を通し、いじめの実態やいじめをみてしらんぷりすることはいじめに加わることだということを描いた作品です。	DVD
22	小学校の高学年(4年から6年生)	東映教育映像アニメーション名作シリーズ 「いのちへの賛歌」	72分	<p>東映教育映像が制作した名作アニメーションの数々を、新たにDVDにて発売します。第1巻には、「しらんぷり」「ぼくの青空」「金色のくじら」の3作品を収録。</p> <p>「しらんぷり」(21分) いじめ問題をテーマにした、心に訴えるアニメーション作品です。主人公のアキラは、このストーリーの中でいじめの傍観者の立ち位置にいます。いじめと対峙したアキラの心の葛藤のドラマをリアルに描いており、特に、アキラの心の叫びが爆発するラストシーンは胸を打ちます。</p> <p>「ぼくの青空」(26分) 難病の筋ジストロフィーの患者である大久保義人さんの闘病生活を綴った「僕の青空」が原作です。大久保さんがわずかに動く口を使ってベッドの上で打ったワープロ、そして家族や病院職員の方々の協力による口述筆記から原作は作られました。いのちの応援歌として、今もなお、私たちの心を打つアニメーション作品です。</p> <p>「金色のくじら」(25分) 白血病の弟のために、自分の骨髄を提供した兄の、愛と勇気、家族愛と友情の物語を、ファンタスティックに描いた名作アニメーションです。小学校3年生のツトムには幼稚園児の弟・ユウイチがいます。ある日、そのユウイチが白血病に。骨髄移植をテーマに、小さな弟を励ます家族愛と友情の物語です。</p>	DVD
23	小学校の高学年(4年から6年生)	新ちゃんがいない！	36分	四肢性マヒのため全寮制の養護学園で学んでいた新ちゃんは、先生や先輩の励まし、本人の努力が実って普通小学校に転入することができた。だが、新ちゃんの行く手には様々な障害が待ち受けていた…。新ちゃんの不屈の頑張りや幼なじみの友情が熱い感動を呼ぶ作品です。	DVD
24	小学校の高学年(4年から6年生)	「桃色のクレヨン」 (企画 法務省人権擁護局)	28分	<p>小学校5年生の美奈子は、8年ぶりに外国から帰ってくる1才年上のいとこの雪ちゃんが、素敵なお姉さんに成長していることを期待して、再会を楽しみにしていた。ところが、雪には知的障害があることを知り、戸惑った美奈子は、そのことを友達にかくそうとウソをついてしまう。そのウソがみんなにばれて、美奈子は仲間はずれにされる中、様々なことに気付かされる。</p> <p>子どもと大人が一緒に見て楽しめ、大切なことを いっぱい気付かせてくれる、心温まる作品です。</p>	DVD 字幕



## 人権啓発資料DVD一覧


番号	対 象	題 名	時間	内 容	種別
25	小学校の高学年(4年から6年生)	きいちゃん 私、生まれてきてよかった！	21分	小さい頃の高熱が原因で手足が不自由になり、車椅子で生活している養護学校高等部1年生の主人公とその家族が、姉の結婚式への主人公の出席をめぐる、悩み葛藤する過程を原作者の実体験に基づいて描いています。前向きにひたむきに生き、そして自立する主人公の姿を通して、すべての人の個性を尊重し、人権が尊重される社会の大切さを問いかけています。	DVD
26	小学校の高学年(4年から6年生)	『人権』って何だろう	15分	子どもたちの生活シーンをスキット(ミニドラマ形式)にして、人権学習のケーススタディが出来るように構成されている。①自分も大切、他人も大切(人権意識を身に付ける)②ふざけていてもいじめなの？(人権侵害、差別について考える)③これって差別？(人権侵害、差別について考える)をテーマに一人でも集団でも学習できるようにナビゲーター役の黒板君が重要箇所を問いかけている。また、各テーマごとに子どもたちが体験したことなどを本音で話し合うドキュメンタリー映像が収録され、「人権」について参加型学習ができるように構成された作品です	DVD
27	小学校の高学年(4年から6年生)	勇気のお守り	16分	転校生の林太郎は、クラスメイトとの間で起こった事件を契機に学校を休んでしまう。しかし、友人の思いやりや『子どもの人権SOSミニレター』による人権擁護委員への相談をきっかけに、次第に立ち直っていく… 当事者同士では解決の難しい子どもたちのいじめについて、考えてもらうきっかけとなるアニメです。	DVD
28	小学校の高学年(4年から6年生)	自分の胸に手を当てて	15分	学校裏サイトの掲示板への心ない書き込みをきっかけに、不登校となる優子。そして、書き込んだ美唯もネットいじめのターゲットとなっていく。 問題解決のために、洋平は「子どもの人権110番」へ相談し、クラス全員で話し合うことになるが… 近年、社会問題となっている学校裏サイトやネットいじめについて、その本質を理解してもらうアニメです。	DVD
29	小学校の高学年以上	「未来への虹 ーぼくのおじさんは、ハンセン病ー」 (企画 法務省人権擁護局)	30分	小学校6年生の正太は、「国立療養所多磨全生園(たまぜんしょうえん)」に住む平沢保治さんの家へおつかいを頼まれました。はじめて訪れる「全生園」がどのようなところかわからない正太は、平沢さんの容姿に驚き、戸惑います。そんな正太に、平沢さんは語りかけます……。『ハンセン病』という病気にかかり、14歳の時に全生園に入所したこと。外見が他の人と違うために「差別」を受けてきたことを……。『プロミン』という薬により、病気が完治するようになっても、国は強制隔離を続け、差別を助長してきたこと。そして、「偏見や差別がある限り、ふるさと地球で一番遠い場所」なんだということを……。2年後、再び全生園を訪れた正太は、「みんなにもっとハンセン病のことを理解してもらって、おじさんたちが少しでも生まれ故郷に近づけるようにしたい。おじさんのふるさとへの虹のかけ橋をきつと僕たちがかけるから……」と決意を語ります。	DVD 字幕

## 人権啓発資料DVD一覧

番号	対 象	題 名	時間	内 容	種別
30	小学校の高学年以上	「未来への道標 ～ハンセン病とは～」 (企画 法務省人権擁護局) 	30分	かつて「らい病」と呼ばれ、恐れられていたハンセン病。患った人は、強制隔離され、人間として扱われませんでした。1996年、強制隔離の根拠となる「らい予防法」が廃止され、2001年には、国家賠償請求訴訟において国が行ってきた政策が過ちだったことが認められました。しかし 2003年に熊本県で起こったハンセン病療養所入所者に対するホテル宿泊拒否事件を始め、いまだに患者・回復者が偏見と差別にさらされていることが明らかになりました。 人権侵害の歴史、なくならない偏見・差別。その根底にあるものは何なのか。元民放テレビ記者の数本雅子が、各地にある療養所や社会に出て暮らすハンセン病回復者らを訪ね、その真相に迫るとともに、今後の「人権の在り方」について問いかけます。ナレーションは俳優の渡部篤郎が担当。	DVD 字幕
31	小学校の高学年以上	エールを贈るバス	29分	直子(11歳)の母は、障害のある少女の心を傷つけてしまう。直子はすぐに母の間違いに気付き、心を傷つけた少女智香(8歳)に母と謝りに行く。勇気を出して謝ったことで、直子と智香の友情が芽生え、直子たちは障害者も健常者も同じ社会の一員として認め合う事の大切さを学ぶ感動の作品です。	DVD
32	小学校	～ハンセン病と家族の物語～ 夢でしか帰れなかった故郷	13分	ハンセン病は現代では発症することはほとんどなく、適切な治療を行えば治る病気であるにもかかわらず、かつて採られた国の強制的な隔離政策により、人々の心の中にハンセン病は恐ろしい病気だというイメージが植え付けられ、患者・元患者のみならずその家族に対する偏見や差別が作出・助長されました。ハンセン病患者を隔離するための法律が廃止された現代においても、元患者やその家族に対する偏見や差別はなくなっていない。このアニメーションは、小学生がハンセン病問題について学ぶ第一歩として、授業等でお使いいただく教材となっています。	DVD



## 人権啓発資料DVD一覧


番号	対 象	題 名	時間	内 容	種別
33	中学校	「見上げた青い空」(企画 法務省人権擁護局) 	34分	いじめを苦にした良太は、幼なじみの岸田へ最後のメッセージを残して飛び降り自殺をしてしまう。良太を助けられなかった岸田は、いじめをした中心人物に仕立てられ、転校することになる。転校した中学校にもいじめがあり、岸田は、うんざりする。 岸田は、いじめられて校門に立ちつくす幸江に良太を重ね、二度と繰り返したくないと思い、前の学校での出来事を幸江に話す。幸江は、保健室で死を待つばかりの病気を患っている志保に、いじめのことを打ち明けるが、生きられるのに死にたい自分と、生きられないのに生きたい志保の感情が交差して混乱する。 そして事件が起こる。クラスはいじめ問題の行方は…。 この作品には、ドラマに登場した役者がいじめ問題について、それぞれの立場で語るパートがあります。そこにはいじめ問題を解決するためのヒントが盛り込まれています。この作品を見ていじめ問題について話し合ってください。	DVD 字幕
34	中学校	セツちゃん	36分	文部科学省選定・2004年教育映像祭優秀作品賞。重松清原作直木賞受賞「ビタミンF」より。 高木家は、父・雄介、母・和美、中学2年生の娘・加奈子の3人家族。ある日、加奈子が、クラスでいじめられていて、みんなから嫌われている「セツちゃん」と言う転校生について話し始め、以降、頻繁に家族の中で「セツちゃん」の話をするようになる。そんな中、加奈子が、両親に運動会に来ないように言うが、運動会当日に両親が見たものは、一人だけ違う振りで踊る加奈子の姿だった。	DVD
35	中学校	いじめ14歳のメッセージ	25分	ある中学校。昼休みの教室で、ひとりの生徒慧佳(すいか)はふらふらと窓の方へ向かう。「キヤーツ！」クラスメイトたちの悲鳴が響き渡る。「ああ…これでやっと地獄から解放される…祈りながら眠る日々は…もう、おしまい…」慧佳は、こうつぶやきながら落ちていく。 幽体となった慧佳は、この事件で騒然としている学校へ行き、もう一度、人生や学校生活、友達や家族のことを振り返る。	DVD
36	中学校	みんなで跳んだ	28分	運動会のクラス対抗大縄跳びで勝つことを選ぶのか、それともクラスの和か？2年1組のみんなは悩み、苦しみ、葛藤する。そしてみんなはひとつの選択をし、何かを飛び越えた…。たくさんのテレビ番組で紹介され、日本中の人々を感動の渦に巻き込んだ、あの実話がアニメになりました。今、いちばん大切な何かがこの物語の中にあります。	DVD





## 人権啓発資料DVD一覧

番号	対 象	題 名	時間	内 容	種別
37	中学校	ケータイトラブル	25分	ケータイによる犯罪・事件に子どもが巻き込まれる事案が増えている。子どもがケータイの世界へ無防備、無自覚にふれてしまう、乱用するといった背景には、家庭、学校における人間関係、親子関係のあり方が指摘されている。ケータイの中に犯罪や事件があるのではなく、それを使う人の心が問題である。子どもがケータイトラブルを起こして犯罪者・被害者にさせないよう3つの事例を紹介し、問題提起した作品です。	DVD
38	中学校	ネットいじめ ひとりで悩まない	23分	中学2年生の美咲は、初めて携帯電話を買ってもらって大喜び。親友の綾や由衣と楽しく携帯メールで会話する毎日が始まる。そんなある日、ちょっとした誤解から綾の機嫌を損ねてしまう美咲。メールで謝ってみたけれど返事は来ない。気持ちの晴れない日が続いていた美咲をさらに落ち込ませる事件が起こった。美咲の携帯に見知らぬ男性たちから不審なメールが次々と送られてきたのだ…。この作品は、ある中学2年生のネットいじめの事例をドラマ形式で描き、「ネットいじめは絶対にしてはいけないということ、様々ないじめの対処法、インターネット・リテラシーの基本などについて子供たちに考えさせ知識を身に付けさせる内容となっています。	DVD
39	中学校	インターネットの向こう側	26分	半年前、いじめ問題を克服したはずの青野北高校2年A組だったが、ここにきて「学校裏サイト」を利用した「ネットいじめ」の問題が起きていた。同時に、「なりすまし」の「プロフ」を作られ被害を受ける生徒も…担任教師はインターネットを利用した誹謗中傷や個人情報の漏えいは「人権侵害」であることを理解してもらおうと、携帯電話やインターネットが抱える問題点について保護者や生徒たちと話し合う…	DVD
40	中学校	デートDVって何？～対等な関係を築くために～	22分	若者にとって身近に起こりうる問題であるデートDVについて、①「僕は君だけのもの？」、②「彼の言うことは絶対？」、③「好きなら何でも受け入れるの？」の3つの事例に分けて検討し、デートDVの本質やデートDVによって生じる悪影響などについて考え、男女の対等な人間関係を築くために、自分の意識を再確認することのできる内容となっています	DVD

## 人権啓発資料DVD一覧

番号	対 象	題 名	時間	内 容	種別
41	中学校	わたしたちの声 3人の物語 	45分 (各話 15分)	「全国中学生人権作文コンテスト」入賞作品を基に、中学生である作者が人権について考えを深めていく過程を描いています。 作品①「いじめをなくすために、今」 作者自身が、自らの重い体験を通して、命の大切さを知り、いじめを傍観することをやめた経験を振り返ります。 作品②「温かさを分け合って」 作者自身が東日本大震災を機に人の温かさに触れる一方で、偏見や心ない言動に接し、人権について考えを深めていく経験をつづっています。 作品③「リスペクト アザーズ」 作者自身が、アメリカと日本の対人関係を比較しながら、人権を尊重し合うために何が大切かを考えます。	DVD
42	中学校	ほんとの空	36分	高齢者や外国人に対する排除、不利益な扱い、同和問題や原子力発電所事故に伴う風評被害の問題、これら多くの人権課題に共通する根っここの部分は誤った考え方や思い込み、偏見という「意識」です。誤解や偏見に気付き、人と向き合うこと、他者の気持ちを自分のこととして考えるなど、全ての人権課題が自分に関わる問題であると捉え、日常の行動につなげる大切さなどを再確認できる内容となっています。	DVD

## 人権啓発資料DVD一覧

番号	対 象	題 名	時間	内 容	種別
43	中学校	「未来を拓く5つの扉～ 全国中学生人権作文コンテスト入賞作品朗読集～」 	全46分	<p>「全国中学生人権作文コンテスト」では、次代を担う中学生が、身の回りで起きたいろいろな出来事や自分の体験などから、人権について考えています。この作品では、入賞作品の中から5編の作文を朗読して、アニメーションやイラストで紹介します。</p> <p>作品①「本当の国際化とは」(7分30秒)</p> <p>外国人に対するヘイトスピーチの問題と、作者の身近に起こった事件を関連付けて考察し、外国人に対する偏見や差別をなくす必要があることを訴えています。</p> <p>作品②「電車内に咲いた、笑顔の花」(7分30秒)</p> <p>電車から降りようとするおばあさんの手助けをした作者の経験を通して、他者への思いやりの心を持つこと、勇気を出して行動することの大切さをつづっています。</p> <p>作品③「立ち止まる」(8分)</p> <p>「斜視」のため、専用のメガネをつけている作者。そのメガネが原因でいじめられた経験を通じて、他人にものを伝える上で大切な手段である言葉が、一言で相手の胸の内に冷たく重い鉛の塊をも作り出してしまうほどの猛毒になり得る一方で、他人を救う暖かい毛布にもなることに気がきます。作者は、自分が言葉を発する時には、一度その意味を「立ち止まって」考えることを誓います。</p> <p>作品④「NO!と言える強い心をもつ～ハンセン病問題から学んだこと」(8分30秒)</p> <p>長島愛生園において、ハンセン病元患者たちが受けた差別による苦難の歴史を聞いた作者は、差別はなくなったわけではなく、現在も「いじめ」という差別が存在することを認識します。元患者との交流から、たくさんの人と愛でつながる人間になりたいと思った作者は、これからは周りに流されず、自らの意思でNO!と言えるようになることを決意します。</p> <p>作品⑤「絆」(6分30秒)</p> <p>作者は、小学生の時から同じラグビースクールでプレーした、身体の不自由な友人との今までを振り返ります。周りの大人たちが言うとおり、作者が身の回りのことを手助けすることを友人は望んでいるのか…本当に大切なことは、友人とパスをつなげば分かると、最後に述べています。</p>	DVD
44	中学校	「あなたがあなたらしく 生きるために」 (企画 法務省人権擁護局) 	30分	<p>最近では少しずつ性的マイノリティに関する言葉を耳にする機会が増えていますが、浸透というレベルには至っておらず、正しく理解している人もわずかです。</p> <p>本教材は、2つの事例を紹介し、性的マイノリティについて正しい理解を持ち、さらに、誰もが自分らしく毎日を過ごすため、立場の異なる一人一人が何をすべきか、また社会全体がどんな取り組みをすべきなのかを分かりやすく解説しています</p>	DVD

## 人権啓発資料DVD一覧

番号	対 象	題 名	時間	内 容	種別
45	中学校	聲の形	30分	将也のクラスに転校してきた硝子は聴覚障がい者だが、筆談ノートで積極的に皆に語りかける。当初は好意的に受け入れていた将也やクラスメイトたちであったが、硝子が原因で授業が止まったり、筆談ノートの煩わしさに徐々にストレスを感じていく。そして、学校の名物行事である合唱祭の入賞を逃したことを切っ掛けに、硝子はいじめの標的になってしまう。黒板や机に悪口を書かれたり、体育の時間にボールをぶつけられたり…。そんなある日、最悪の事件が起こる…。「いじめ」や「障がい者との共生」などのテーマを、視聴者が自然に考えることができる教材となっています	DVD
46	中学校	「国際連合創設70周年記念 すべての人々の幸せを願って～国際的視点から考える人権～」 (企画 法務省人権擁護局)	全35分	主として中学生以上の一般市民を対象に人権研修、講演会、人権教室等で上映等を行うことにより、国際的視点から考える人権問題について、世界人権宣言や国際人権諸条約の解説及び再現ドラマ等を通じて、理解や関心を深めることを目的とする人権啓発資料です。 なお、内容は、国連の人権の取組み(5分)ほか①女性の人権(9分)、②子どもの人権(7分)、③障害のある人の人権(9分)、④外国人の人権(6分)の4編が収録されています。	DVD
47	中学校	わたしたちが伝えたい、大切なこと ～アニメで見る全国中学生人権作文コンテスト入賞作品～	全31分	近年の全国中学生人権作文コンテスト入賞作品から①外国人問題、②障害者スポーツ、③障害者理解を題材とする3作品をアニメ映像化したものです。 作品①「差別のない世界へ」(8分) 中学生である主人公自らの経験を通して差別される側の心の痛みを知り、父の言葉を思い起こして差別に立ち向かう勇気を得る経験を描きます。 作品②「手伝えることはありますか」(7分) 事故で右手を失った父に対して「何でもやってあげよう」と考えた主人公ですが、実際の父との暮らしのなかでやがて大事なことに気づきます。 作品③「共に生きるということ」(7分) 主人公が、人権学習の講師として来た視覚障害のある小林さんの言葉を聞くことで、自分が今で持っていた障害のある人＝弱者という考え方が変わっていく過程を描きます。 審査委員長からのメッセージ(8分)	DVD

## 人権啓発資料DVD一覧

番号	対 象	題 名	時間	内 容	種別
48	中学校	こんにちは金泰九さん ハンセン病問題から学んだこと	22分	第38回全国中学生人権作文コンテスト法務大臣賞作品を映画化したものです。作者のほか広島県福山市益進中学高等学校ヒューマンライツ部の生徒と元ハンセン病患者との交流を通し「ハンセン病を正しく知って正しく伝えることの大切さ」、「周りの人の愛で支えられて生きている自分」を実感し学ぶ姿、かつてハンセン病を患った人たちや、ご家族へ人権侵害の歴史を二度と繰り返さないように強く訴えかけていく作品です。	DVD
49	中学校・高校	SNSに潜む危険 書き込む内容・載せる動画	22分	中学生・高校生に向けて、SNSに書き込む内容や載せる動画による①ネットのコミュニケーション②画像や動画の投稿③SNSをきっかけに犯罪被害について、トラブルの事例等を紹介しながら、ネットの危険性について解説し、使い方についてよく考えることが大事であるということを学ぶ内容となっています。	DVD
50	中学校・高校	STOP！デートDV (企画 岩波映像株式会社)	22分	好きな人と交際できるのは素敵なこと。しかし現在、10代のカップルのおよそ三組に一組の割合で、デートDVが起こっていると言われています。この作品は、若者間で起こるデートDVをドラマ化。解説パートではデートDVが起こった時、どうすればよいか。被害者、加害者、被害者の友人、加害者の友人の立場に分け、デートDVについての理解を深める構成となっています。  【内容(ドラマ)】 1. 精神的暴力・経済的暴力 2. 身体的暴力 3. 性的暴力	DVD

# ワークショップ型人権教室資料一覧

参加型の人権教室です。

番号	対 象	項 目	時 間	内 容	人 数
1	中学校	人権全般	60分～90分	<p>人権とは何かを考えるときに、従来の「いじめはいけない」や「障害のある人を助けなければいけない」などにとどまることなく、柔軟な発想で“人権”について考えてみることで、人権感覚や人権意識を養うことをテーマ・目標とするものです。</p> <p>※使用アニメ「リスペクトアザース」</p> <p>【内容】</p> <p>作者の中学生が、アメリカと日本の対人関係を比較しながら、人権を尊重し合うために何が大切かを考えます。</p> <p>平成24年度第32回全国中学生人権作文コンテスト法務大臣賞受賞作品原作</p>	40人程度
2	中学校	人権全般	60分～90分	<p>人権とは何かを考えるときに、従来の「いじめはいけない」や「障害のある人を助けなければいけない」などにとどまることなく、柔軟な発想で“人権”について考えてみることで、人権感覚や人権意識を養うことをテーマ・目標とするものです。</p> <p>※使用アニメ「どうしたらみんなが幸せに暮らせるの？」</p> <p>【内容】</p> <p>小学校高学年の女の子とその家族を通して、日常生活の中で人権に関わるエピソードを紹介します。</p> <p>女の子の家では、お父さんとお母さんが家事を二人で分担したり、一緒にやっています。しかし、女の子の友達が遊びに来たとき、お父さんがケーキを振る舞うと、友達に女の子みたいで変ねと言われます。</p> <p>おじいさんは写真が趣味で、あちこちで撮ってきた写真をブログにアップしていますが、近所では、年をとっても活動的で、ちょっと変なおじいちゃんって言われています。</p> <p>女の子がみんなが幸せに暮らすためにはどうしたらよいかと、問いかけます。</p>	40人程度
3	中学校	障害のある人	60分～90分	<p>障害のある人に対する偏見をなくし、理解と配慮のある社会の大切さを学び、障害のある人＝かわいそう、だから助けるといった短絡的な考えに陥らず、障害があっても健常者と同じ日常生活ができる権利を保障するという考え方を理解し、さらに社会にある様々な「障害」を少しでも減らすにはどうしたらいいかを考えることをテーマ・目標とするものです。</p> <p>※使用アニメ「障害って何だろう？」</p> <p>【内容】</p> <p>車椅子バスケットで活躍しているパラリンピアン根木慎志さんが、中学校の体育館で講演を行い、生徒との車椅子バスケットの試合を行い、主人公の男子生徒は車椅子を操作しながらボールを扱う難しさを実感します。</p> <p>根木さんは、車椅子バスケットが一番上手だった自分に障害はあると思うかと問いかけます。生徒たちは「ない」と答えます。</p> <p>今度は、階段の上り下りができないため、教室に行くことができないが、その障害は何かと問いかけます。生徒たちは「階段」と答えます。</p> <p>根木さんは、障害とは、自分たち障害者にあるのではなく、階段のように、社会が作り出しているものであり、社会の努力でなくすことができると説明します。</p> <p>場面が変わり、身の回りにある障害を紹介し、最後に障害とは何かを視聴者に問いかけます。</p>	40人程度

## ワークショップ型人権教室資料一覧

参加型の人権教室です。

番号	対 象	項 目	時 間	内 容	人 数
4	中学校	外国人・多文化共生	60分～90分	<p>世界には多様な人種や国籍、言語、文化があり、様々な境遇の人が居ることを知り、互いに尊重し合い、助け合うことの大切さを理解する。</p> <p>身近な問題を考える事をきっかけとして、多文化共生や外国人の人権について意識を高めることをテーマ・目標とするものです。</p> <p>※使用アニメ「どうしたら分かりあえるの？」</p> <p>【内容】</p> <p>主人公の男の子の家族が営む旅館で、外国人観光客の増加もあり、外国人のお客さんも受け入れることにしました。</p> <p>ある時、外国人のお客さんが、夕食に全く手を付けませんでした。理由のわからない母は困惑します。</p> <p>また、外国人のお客さんが来るようになってから、日本人のお客さんからのクレームが増えました。</p> <p>外国人の入れ墨やお風呂の入りが問題となっています。周辺の飲食店にも外国人のお客さんが増え、にぎやかになりましたが、祖母は不安も感じています。男の子のクラスでも言葉の問題があって孤立しがちな外国人のクラスメイトがいます。</p> <p>男の子は、外国人のお客さんやクラスメイトと片言でも積極的にコミュニケーションが取れるようになりました。しかし、祖父母はなかなか外国人のお客さんを心から受け入れることができません。</p> <p>男の子はどうしたらいいのかと、問いかけます。</p>	40人程度